

経済4団体主催

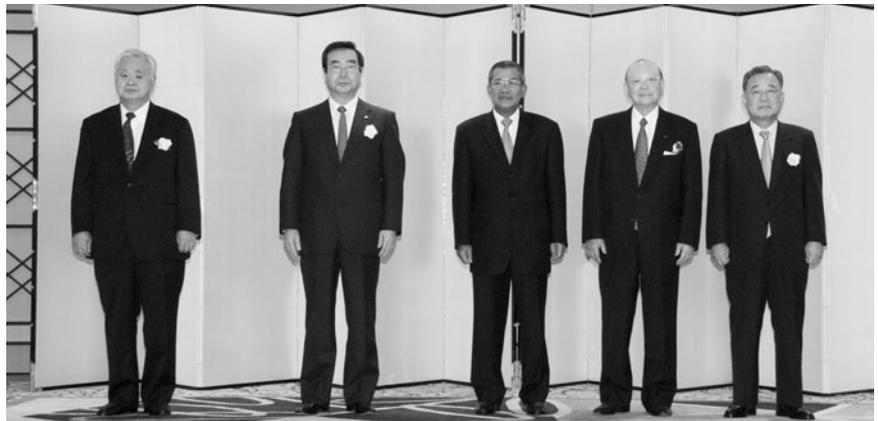
# フン・セン カンボジア王国首相 歓迎昼食会

日本側を代表し、桜井正光代表幹事が歓迎挨拶

**カ**ンボジア王国首相、サムデク・フン・セン閣下が、去る6月13日から16日までの4日間、公賓としてわが国を公式訪問した。フン・セン首相の来日に際し、経済同友会・日本経団連・日本商工会議所・日本貿易会の経済4団体は、6月14日、歓迎昼食会をホテルオークラで開催した。カンボジア側からは、フン・セン首相をはじめ、同行の閣僚、駐日大使らが出席。日本側は、桜井正光代表幹事、米倉弘昌日本経団連副会長、室伏稔日本商工会議所特別顧問、宮原賢次日本貿易会名誉会長、渥美千尋外務省南部アジア部長らが出席した。

この歓迎昼食会のホスト役を務めた桜井代表幹事は、日本側を代表して歓迎挨拶に立ち、次のように述べた。

「貴国とわが国との間で、過去最高レベルと言われる質の高い投資協定が締結される運びとなり、日本とASEAN、日本と貴国との長い協力の歴史が新たな段階へ向けて一歩踏み出すこととなる。1993年の新生・カンボジ



左から、米倉弘昌 日本経団連 副会長、桜井正光 経済同友会 代表幹事、フン・セン カンボジア王国首相、室伏稔 日本商工会議所 特別顧問、宮原賢次 日本貿易会 名誉会長。

ア王国の誕生から14年目となり、貴国は、経済・政治の両面で着実に成長を遂げつつある。今後引き続き、歴史に裏付けられた創造性とメコン川の恵み豊かな大地から貴国ならではの素晴らしい『強み』が生まれ、東アジアの多様性と活力をさらに豊かなものにしていかれると確信している」

続いて、フン・セン首相が返礼挨拶を行った。フン・セン首相は、「日本からの過去15年間のご支援に対し、政府・国民の皆さまに心から感謝を申し上げる」と謝意を表した上で、特にカンボジアの経済発展に言及しつつ、次のように述べた。

「1999年の和平獲得以降、カンボジア経済は着実に上昇を続けている。2000年から2006年において、平均9.4%の経済成長を達成した。この間、インフレ率を平均3%以下に抑え、為替も安定していた。近年の原油、天然ガス、鉱物資源の発見と開発は、わが国の将来に大きな可能性をもたらすと同時に、国際社会における新たなスタンスを確立するという意味を持つ。

今日のカンボジアにとって、製造業の育成と新事業の創生が重要な課題だ。日本は技術もノウハウも持っており、カンボジアの資源・労働力が組み合わせることで大きなシナジーが生み出されると確信している。政府としては、さらなる政治・経済、治安の安定を図り、投資法や関連法の整備とその適正な運用、これまで以上の投資優遇措置などにより、より良い投資環境を築いていく方針である」

